

平成 29 年 度

授業科目の解説 (4年用)

看護学科

島根大学医学部

平成29年度授業時間割表（看護学科4年）

前 期

	1・2 8:30～10:00	3・4 10:15～11:45	5・6 12:45～14:15	7・8 14:30～16:00	9・10 16:15～17:45
月					
火					
水					
木					
金					

4～6月：養護展開実習事前・事後指導（土江）

5～9月：助産学実習（松浦他）

4～8月：地域看護学演習（榊原他）

卒業研究（内田他）

5～6月：養護展開実習（土江）

後 期 1月第1週で授業を終えるため、空きコマに授業を入れています。各科目の授業日程表で確認してください。

	1・2 8:30～10:00	3・4 10:15～11:45	5・6 12:45～14:15	7・8 14:30～16:00	9・10 16:15～17:45
月		看護カウンセリング論 (瀧尻) (N12)			看護カウンセリング論 (瀧尻) (N12)
火		看護教育論 (津本) (N12)	緩和ケア論 (矢田他) (N12)	助産業務管理 (松浦他) (N12)	保健社会学 (神田他) (N12)
水					
木		クリティカルケア論 (森山他) (N12)	家族看護論 (矢田他) (N12)	看護理論講読 (福岡他) (N12)	
金	地域看護管理論 (小笹他) (N21)		看護管理論 (内田) (N12)		

卒業研究（内田他）

看護学総合実習（小笹他）

教職実践演習（土江他）

区分	授業科目名	単位数	履修年次		必修・選択又は自由科目の別	授業担当教員	
			4年次				
			前期	後期			
専門教育科目	専門基礎科目	保健社会学 pp5～6	2		2	選択	教授 神田 秀幸 他
		海外研修B p7	1			自由	募集時に決定
		海外研修C p8	1			自由	審査後決定
専門教育科目	専門科目	地域看護学演習 pp9～10	1	1		必修	講師 榊原 文 他
		地域看護管理論 pp11～12	1		1	必修	教授 小笹 美子 他
		卒業研究 pp13～14	2		2	必修	教授 内田 宏美 他
		看護管理論 pp15～16	2		2	必修	教授 内田 宏美
		看護カウンセリング論 pp17～18	2		2	選択	講師 瀧尻 明子
		家族看護論* pp19～20	2		2	選択*	教授 矢田 昭子 他
		緩和ケア論 pp21～22	2		2	選択	教授 矢田 昭子 他
		クリティカルケア論 pp23～24	2		2	選択	講師 森山 美香 他
		看護理論講読 pp25～26	1		1	選択	准教授 福間 美紀 他
		看護教育論 pp27～28	1		1	選択	教授 津本 優子
		老年看護学実習	1	1		必修	教授 原 祥子 他
		在宅看護学実習	1	1		必修	講師 竹田 裕子 他
		地域看護学実習	3	3		必修	教授 小笹 美子 他
		地域看護学実習	1	1		必修	講師 榊原 文 他
		看護学総合実習	1		1	必修	教授 小笹 美子 他
助産科目	助産業務管理** pp29～30	1		1	選択	講師 松浦 志保 他	
	助産学実習	11		11	選択	講師 松浦 志保 他	
教職に関する科目	養護展開実習事前・事後指導	1	1		選択	講師 土江 梨奈 他	
	養護展開実習	2	2		選択	講師 土江 梨奈 他	
	教職実践演習(養護教諭) pp31～32	2		2	選択	講師 土江 梨奈 他	

養護教諭一種免許状取得のための教職に関する科目の単位の修得方法 (p.33掲載)

オフィスアワー (p.34掲載)

* 助産師又は養護教諭一種の資格を得ようとする者は必修とする。

** の科目については、他の学生も選択できる

カリキュラム模式図 [医学部看護学科]

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目 英語 英語 I A, 英語 II A 英語 I B, 英語 II B 初修外国語 (選択必修) (ドイツ語 I, フランス語 I, 中国語 I, 韓国・朝鮮語 I) 健康・スポーツ 健康・スポーツ科学概論 I スポーツ実習 I 情報科学 情報科学概論 情報科学実習 教養育成科目 (選択必修) 入門科目 人文社会科学分野 自然科学分野 (細胞生物学は必修) 学際分野 発展科目 人文社会科学分野 自然科学分野 学際分野 社会人力養成科目 (日本国憲法)	英語 英語 I B, 英語 II B 英語 I A, 英語 II A 初修外国語 (選択) (ドイツ語 II, フランス語 II, 中国語 II, 韓国・朝鮮語 II) 健康・スポーツ 健康・スポーツ科学概論 II スポーツ実習 II 情報科学 情報科学実習 教養育成科目 (選択必修) 入門科目 人文社会科学分野 自然科学分野 (細胞生物学は必修) 学際分野 発展科目 人文社会科学分野 自然科学分野 学際分野 社会人力養成科目 (日本国憲法)	専門教育科目 (専門基礎科目) 看護英語 I 病理学の基礎 薬理と薬剤 疾病論 I 疾病論 II 疾病論 III 障害福祉論 専門教育科目 (専門科目) 看護理論 看護過程論演習 日常生活援助技術演習 地域看護学概論	専門基礎科目 看護英語 II 保健福祉行政論 疫学・衛生統計 専門教育科目 (専門科目) 成人看護学援助論 I 成人看護学援助論 II 老年看護学援助論 小児看護学援助論 母性看護学援助論 精神看護学援助論 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論	専門教育科目 (専門科目) 成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 老年看護学実習 I (於：附属病院) 小児看護学実習 (於：附属病院、保育所) 母性看護学実習 (於：附属病院、保育所) 精神看護学実習 (於：附属病院他) 在宅看護学実習 (於：附属病院他) 看護学総合実習 I (OSCE)	専門教育科目 (専門基礎科目) 看護英語 I 保健福祉行政論 疫学・衛生統計 専門教育科目 (専門科目) 成人看護学援助論 I 成人看護学援助論 II 老年看護学援助論 小児看護学援助論 母性看護学援助論 精神看護学援助論 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論	専門基礎科目 看護英語 II 保健福祉行政論 疫学・衛生統計 専門教育科目 (専門科目) 成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 老年看護学実習 I (於：附属病院) 小児看護学実習 (於：附属病院、保育所) 母性看護学実習 (於：附属病院、保育所) 精神看護学実習 (於：附属病院他) 在宅看護学実習 (於：附属病院他) 看護学総合実習 I (OSCE)	専門基礎科目 看護英語 I 保健福祉行政論 疫学・衛生統計 専門教育科目 (専門科目) 成人看護学援助論 I 成人看護学援助論 II 老年看護学援助論 小児看護学援助論 母性看護学援助論 精神看護学援助論 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論
基礎科目 環境保健学 社会福祉論 専門教育科目 (専門科目) 看護学原論 援助関係論演習 ヘルスアセスメント技術演習 基礎看護学実習 I (於：附属病院)	基礎科目 教育原論 II 人格発達心理学概説 教育社会学概説 教育相談の理論と方法	基礎看護学実習 II (於：附属病院) (於：松江赤十字病院) 助産学概論 看護概論 道徳及び特別活動論 視聴覚教育論	助産学実習 助産学実習 I 助産学実習 II 助産過程論 健康相談論 看護基礎実習事前・事後指導 看護基礎実習 看護基礎実習	看護学総合実習 II (於：附属学校、既実習施設) 助産学実習 助産学実習 看護学総合実習 II (於：事業所)	看護学総合実習 II (於：附属学校、既実習施設) 助産学実習 助産学実習 看護学総合実習 II (於：事業所)	看護学総合実習 II (於：附属学校、既実習施設) 助産学実習 助産学実習 看護学総合実習 II (於：事業所)	看護学総合実習 II (於：附属学校、既実習施設) 助産学実習 助産学実習 看護学総合実習 II (於：事業所)

凡例 □ 教養育成科目 □ 専門教育科目 (専門基礎科目) ■ 専門教育科目 (専門科目) □ 臨床実習 □ 助産科目 ■ 看護・教職科目 (看護教諭一種免許状)

專 門 教 育 科 目

專 門 基 礎 科 目

授業科目名	保健社会学	担当教員	教授 神田 秀幸 他		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義・討論	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>人の健康にとって、社会における生活環境は疾病の発症や流行に重要な要素である。</p> <p>一方、健康問題を解決していくためには、社会環境として展開される健康対策や医療環境の整備などの社会からの実践アプローチが求められる。本科目では、社会と保健医療の関わりを様々な視点から取り上げ、人々の健康を維持・増進できる社会環境や集団的アプローチ法について学習することを目的としている。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>日本は、産業構造の高度化、人口の高齢化、社会の複雑化など社会の成熟期を迎えたと考えられる。これに伴って、病気や死因の構造も変化し、人々が保健医療に期待することも変化してきた。再生医療や遺伝子工学の応用など先端的な課題から、健康づくりやプライマリケアの整備など幅広い課題まで多様な期待がある。本科目では、これらの課題に、保健医療従事者になる者として社会との関係から対策や改善策を考えられる思考を学習することを目的とする。</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会と保健医療の関係を説明できる。 2. 社会における技術革新と健康について説明できる。 3. 災害時の保健医療行動が考察できる。 4. 生活習慣改善（禁煙等）のための保健指導の技法（行動変容技法等）を説明できる。 5. 職場における健康管理や環境管理について概説できる。 6. 職場における産業看護師、産業保健師の役割を説明できる。 7. 食生活と生活習慣病との関係や食品の機能性について説明できる。 8. 自然環境や生活環境による健康影響とその対策を説明することができる。 9. 生活習慣病や生活習慣と健康の関係について説明できる。 					
<p>成績評価</p> <p>レポート成績と講義への主体的な参加（質問や討論）により総合評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚教材・その他の教材</p> <p>永田頌史 監修：チームで取り組む職場のメンタルヘルス。診断と治療社，東京，2011</p> <p>足達淑子 著：行動変容のための面接レッスン。医歯薬出版，東京，2008</p>					
<p>オフィスアワー</p> <p>E-mail：kanpo2@med.shimane-u.ac.jp へ連絡して下さい。</p>					

授業日程表

回	月 日 (曜)	時 間	授 業 内 容	担 当
1	9月26日 (火)	16:15-17:45	保健社会学概論	神田
2	10月3日 (火)	16:15-17:45	保健医療制度	神田
3	10月10日 (火)	16:15-17:45	産業保健活動の実際	神田
4	10月17日 (火)	16:15-17:45	社会とバイオテクノロジー	嘉数
5	10月24日 (火)	16:15-17:45	禁煙の保健指導	嘉数
6	11月7日 (火)	16:15-17:45	職場におけるメンタルヘルス対策	嘉数
7	11月14日 (火)	16:15-17:45	職場における産業看護師・産業保健師の役割	嘉数
8	11月21日 (火)	16:15-17:45	災害と保健医療	神田
9	11月28日 (火)	16:15-17:45	社会と健康	福田
10	11月30日 (木)	14:30-16:00	難病患者の生活の質	福田
11	12月5日 (火)	16:15-17:45	行動変容の保健指導	嘉数
12	12月7日 (木)	14:30-16:00	がんの疫学と予防	嘉数
13	12月12日 (火)	16:15-17:45	精神保健	津村
14	12月14日 (木)	14:30-16:00	学校保健	津村
15	12月19日 (火)	16:15-17:45	医療臨床と社会	佐藤

備 考

講 義 室：N12講義室

講義日程：火曜日 16:15-17:45, 11/30(木)・12/7(木)・12/14(木)は14:30-16:00

授業科目名	海外研修 B (Overseas Study Program B)	担当教員	募集時に決定		
開講年次及び学期	主として2～4年生 長期休暇中	必修・選択の別	自由		
開講形態	実習	時間数	(40時間)	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>海外の医療施設・研究所等で医療に関する体験学習，施設見学，異文化体験等を通じて，海外における地域医療，家庭医療について学び医療人としての視野を広げることを目的とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の地域医療・家庭医療について学ぶ。 ・海外の保健制度について学ぶ。 ・海外の医療教育機関や施設の見学を通じて，医療に関する知識や視野を広げる。 ・異文化交流体験を通じて，国際性を養う。 <p>* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間以上履修した学生には修了認定証 (Certificate for Advanced English Skills) が授与されます。</p>					
<p>対 象</p> <p>医学科 (主として4-6年)，看護学科 (2-4年) を対象とした海外研修。</p>					
<p>成績評価の方法</p> <p>事前指導，事後指導，研修報告書及び報告会での発表により評価する。</p>					
<p>実習日程・履修申込時期その他</p> <p>実習日程，履修申込時期は，後日通知する。</p>					

授業科目名	海外研修 C (Overseas Study Program C)	担当教員	審査後決定		
開講年次及び学期	1～4年生 長期休暇中	必修・選択の別	自由		
開講形態	実習	時間数	(40時間)	単位数	1

授業概要

医学部が主催する「海外研修 A」,「海外研修 B」とは異なり, 学生が自主的かつ主体的に行う医療に関する語学学習や語学研修や体験を主たる目的とした40時間以上の海外研修

学生が主体的に企画した計画を審査する。

審査項目は次のとおり

- ・ 研修目的, 内容, 期間, 時間数
- ・ 受入機関の体制 (施設・人員等)
- ・ 安全確保と緊急時の連絡体制 (渡航先の安全確認, 安全教育, 海外旅行保険加入, 緊急時連絡網等)
- ・ 事前研修 (安全教育等), 事後研修 (報告書, 報告会) の計画

* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間以上履修した学生には修了認定証 (Certificate for Advanced English Skills) が授与されます。

対 象

医学科看護学科の全学年を対象とした海外研修。

成績評価の方法

事前指導, 事後指導, 研修報告書及び報告会での発表により評価する。

実習日程・履修申込時期その他

海外研修 C 申請書及び添付書類を渡航 1 月前までに学務課教育改革・教務担当に提出する。企画前であっても学務課教育改革・教務担当で相談を受け付ける。

專 門 教 育 科 目

專 門 科 目

授業科目名	地域看護学演習	担当教員	講師 榊原文他		
開講年次及び学期	4年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	30	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>地域看護学演習では、既習の地域看護学関連の授業・演習及び臨地実習での知識・技術を基に、地域の人々の健康な生活の維持・増進のために展開する公衆衛生看護活動を学習する。演習方法は、実際の公衆衛生看護活動をシミュレーションし、地域診断、家庭訪問、健康教育、保健指導が実施できることを目的として学習を行う。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習地の地域診断を通して、地域の健康課題を導く方法を理解する。 2. 公衆衛生看護活動の実際を理解し、保健師の役割を考察する。 3. 集団援助技術の基本を理解し、実践できる。 4. 個別援助技術の基本を理解し、実践できる。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 都道府県および市町村の組織・機能が説明できる。 2. 県保健所の保健活動の実際と県保健師の役割が説明できる。 3. 市町村の保健活動の実際と市町村保健師の役割が説明できる。 4. 地域診断を通じて、健康課題の抽出とその解決のための方法を考えることができる。 5. 健康教育演習を通じて、健康教育指導案の作成および実施ができる。 6. 家庭訪問における事例展開方法を理解し、ロールプレイを通して対象者の立場に応じた援助が実施できる。 7. 乳幼児健診演習を通じて、問診および保健指導が実施できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>地域看護学実習前試験、演習の態度、レポートを総合的に評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>【参考書】荒賀直子・後閑容子編集：公衆衛生看護学. Jp, インターメディカル標準保健師講座2 公衆衛生看護技術, 医学書院, 最新版 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動, 医学書院, 最新版 日本看護協会監修：保健師業務要覧, 日本看護協会出版会</p>					

授業計画

回	テ ー マ	授 業 内 容	担当者
1	保健活動の実際（１）	保健所・市町村の機能・役割	榊原
2	保健活動の実際（２）	公衆衛生と保健所の役割	中川
3	保健活動の実際（３）	保健所業務と保健師の役割	沖原
4	保健活動の実際（４）	私が保健師として歩んできた道	沖原，鎌田
5	地域診断（１）	地域診断による健康課題の抽出方法	榊原
6	地域診断（２）	地区踏査・インタビューの方法	榊原
7	家庭訪問（１）	家庭訪問の実際	榊原
8	家庭訪問（２）	家庭訪問ロールプレイ	小笹，榊原，竹田，藤田，宇都宮
9	乳幼児健診（１）	乳幼児健診の実際	榊原
10	乳幼児健診（２）	乳幼児健診演習	小笹，榊原，竹田，藤田，宇都宮
11	健康教育	健康教育指導案の作成	榊原
12	実習指導者会	実習指導者との面談会	小笹，榊原，竹田，藤田，宇都宮 嘱託講師
13	実習まとめ	実習のまとめグループワーク	小笹，榊原，竹田，藤田，宇都宮
14	実習まとめ	実習のまとめ発表	小笹，榊原，竹田，藤田，宇都宮 嘱託講師
15	実習まとめ	実習のまとめ発表	小笹，榊原，竹田，藤田，宇都宮 嘱託講師
<p>備 考</p> <p>第４実習室で行います。</p>			

授業科目名	地域看護管理論	担当教員	教授 小笹 美子 他		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	30	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>公衆衛生看護活動を効果的に推進するために、1) 保健師業務管理、2) 保健事業管理、3) 地域管理、4) 人材育成、5) 危機管理、6) 他職種との連携について学ぶ。地域の多様な健康課題を解決するための地域マネジメントについて学ぶ。</p> <p>さらに、既習の地域看護学関連科目および実習での知識・技術を基に、公衆衛生看護学の学びを統合し、保健師として就業するために必要な知識、技術、態度を学ぶ。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域看護管理の基本を学び、組織・関係機関・地域の調整を図り、それぞれが有機的に機能できるよう働きかける保健師の役割が理解できる。 2. 保健師の活動を包括的に捉え、個人の健康づくりから地域の健康づくりに広がる保健活動の計画実施から評価までを体系的に理解できる。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域看護管理の機能が理解できる。 2. 健康課題を解決するための地域看護管理の実際が説明できる。 3. 地域ケアシステムづくりの実際が説明できる。 4. 公衆衛生看護の人材育成について理解する。 5. 健康危機管理や災害看護の実際について説明できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>試験、授業への出席状況やレポート等で総合的に評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>【教科書】日本看護協会監修：保健師業務要覧，日本看護協会出版会，最新版 国民衛生の動向</p> <p>【参考書】平野かよ子編集：最新 保健学講座5 公衆衛生看護管理論，メヂカルフレンド社 麻原きよみ編集：公衆衛生看護学テキスト1 公衆衛生看護学原論 医歯薬出版 佐伯和子編集：公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護技術 医歯薬出版 近藤克則：健康格差社会 医学書院</p>					

授業計画

回	月日	曜日	テーマ	授業内容	担当者
1	9月29日	金	保健師業務管理 1	個（家庭訪問）から地区活動へ	小笹
2	10月6日	金	保健師業務管理 2	地区管理	小笹
3	10月20日	金	保健師業務管理 3	保健師の人材育成（統括保健師等）	健康福祉部 健康増進課 藤谷明子
4	10月27日	金	保健師業務管理 4	他職種との連携，災害への備え	小笹
5	11月10日	金	公衆衛生と保健師活動	保健，医療，福祉の統合 （地域包括ケア）	健康福祉部 医療統括監 牧野由美子
6	11月17日	金	保健師業務管理 5	公衆衛生看護活動（施策化）	小笹
7	11月24日	金	地域看護研究	保健事業のまとめ，報告から研究へ	小笹
8	12月1日	金	地域看護活動の広がり	へき地，離島，海外での看護活動	小笹
	12月8日	金	試験		小笹

備 考

授業科目名	卒業研究	担当教員	科目責任者：内田 宏美 看護学科全教員		
開講年次及び学期	4年 通年	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	60	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>看護研究のプロセスを主体的に辿る経験をとおして、科学的・論理的思考力を養うとともに、看護専門職として生涯にわたって看護を探究していく研究的態度や創造力、自律的態度を培う。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>3年次の「看護研究方法論」で習得した知識と技術を活用して、担当教員の指導・助言を受けながら、主体的に研究に取り組む。</p> <p>自己の看護への関心や探究心を研究への動機として、十分な文献検討を経て研究テーマと研究目的を設定する。目的を達成するための具体的で、且つ無理のない実現可能な研究計画を立てて実行する。成果を発表し、集録集にまとめる。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の研究動機に基づいて文献検討を行い、関心領域の知見を整理して、研究テーマを導出できる。 2. 研究の目的を明確に位置づけ、目的の解明のための具体的且つ論理的一貫性のある研究計画を立案する。 3. 研究の実施に当たっては、「看護研究倫理指針」に基づいて適切に倫理的配慮を実行することができる。 4. 適切な方法を用いてデータの分析を行うことができる。 5. 目的・方法・結果・考察の形式で構成された、論理的一貫性のある発表ができる。 6. 発表会での批判を吟味して、所定の書式を用いて論文形式の報告書（A4版：2枚）にまとめることができる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>上記の行動目標の達成の状況から総合的に判断する。</p>					
<p>教科書</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ホロウェイ他，野口美和子監訳，『ナースのための質的研究入門』，医学書院 2) 石井京子他，『ナースのための質問紙調査データ分析』，医学書院 					

授業計画

時期	学習進行の目安	全体の進行	運 営
1月		31日 第1回オリエンテーション 研究テーマ・概要調査票配布	
2月	研究的関心の自問と整理		教員指導体制の検討
3月	研究テーマの焦点化	6日正午：研究テーマ・概要の提出	中旬：教員配属の検討と決定
4月	教員配属発表後1週間以内 ・ゼミ・指導日程の調整 ・研究テーマ、キーワードの確認 <u>老年看護学実習</u> のインターバル ・文献収集及びクリティーク	初旬 ：第2回オリエンテーション 指導教員配属の提示	・附属病院看護部へ研究協力の依頼
5月	<u>在宅看護学実習</u> のインターバル ・文献収集及びクリティーク ・研究テーマの絞込み		・卒業研究発表等要領案の作成
6月	<u>地域看護学実習</u> のインターバル ・研究テーマの決定 ・研究デザインの決定 ・具体的な研究計画の立案		・附属病院及び学外協力施設の 研究実施 フィールドの学科内調整 (5月中旬：1階資料室に調整表の掲示)
7月	<u>地域看護学実習</u> のインターバル ・研究の実施 ・研究対象の抽出 ・研究の依頼 ・日程調整		座長のスケジュール調整案提示
8月	<u>地域看護学実習</u> のインターバル 夏期休暇 ・研究の実施 ・調査票配布、インタビュー等 ・データの回収 ・データ入力、逐語録の作成		
9月	夏期休暇 ・データの整理・分析		・卒業研究発表等要領の印刷、 教員への配布
10月	データの分析 まとめと考察	初旬：第3回オリエンテーション (発表会の運営、原稿作成等) 23日(月) 正午 ：プログラム用演題名提出	試写日程調整 23・24日(月・火) プログラム演題編集 25日(水) プログラム印刷 26日(木) プログラム封筒詰め 27日(金) プログラム発送
11月	抄録原稿作成 パワーポイント作成 発表原稿作成 集録集原稿作成	8日(水)正午：抄録原稿提出 22日(水)終日：卒業研究発表会	8・9日(水・木) 抄録原稿編集 10日(金) 抄録印刷発注 校正1回 17日(金) 納品 仕分け 20日(月) 学内配布 21日(火) 会場準備
12月		1日(金)正午：集録原稿提出	4～7日(月～木) 集録集編集 8日(金) 集録集印刷発注 校正1回 年内：納品 下旬：成績の取りまとめ 提出 実習web・アンケートによる科目の総括
1月			上旬：集録集仕分け 封筒詰め 配布、発送
備 考 * 学習進行表は、無理なくゴール達成するためのあくまでも目安である。 * 卒業研究は、実習、国家試験勉強、就職試験、進学試験等、個々人の重要な課題と併行しながら進めなければならないので、時期によって集中すべき課題を見極め、頭を切り替えながら、時間を合理的に使って着実に取り組むこと。 * 年度初め、及び、節目節目に教員 - 学生間で日程を調整し、平均して週1コマ程度のゼミまたは個別指導の時間を設定して計画的に進めること。			

授業科目名	看護管理論	担当教員	教授 内田 宏美		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>看護管理に関する知識は、看護管理者だけに求められるものではない。看護の組織に属するメンバー1人1人が看護管理の知識を持ち、それを臨床や教育・研究など看護が実践されるあらゆる場で活用することにより、豊かで質の高い看護が実現される。看護を組織的に実践していくことの意義と課題を、現場のミクロ的視点と、社会のニーズや政策などのマクロ的視点を交錯させながら学び、保健医療福祉教育のネットワークの要としての看護職の役割と機能を認識し、看護専門職としての将来像を展望する。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>看護専門職としての質の高い看護サービス提供に対する責務の観点から、看護管理の必要性と重要性を認識するとともに、その展開における基本的方法についての理解を深め、実践への見通しを持つ。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. なぜ看護管理を学ぶのか。サービスとしての医療・看護という考え方や、看護サービスのマネジメントとしての看護管理の意義を理解する。 2. 組織とその機能、リーダーシップの定義、マネジメントの定義、管理モデルの変遷、変化理論と問題解決の方略等に関する諸理論を理解し、組織運営におけるリーダーシップの重要性を認識する。 3. 看護倫理に根ざした実践システムとしての看護管理のあり方、看護管理者と看護実践者の果たす役割、専門職としての課題を理解する。 4. 看護の質向上におけるキャリア開発の意義、キャリア開発のための個人と組織の方略、キャリア開発の制度、プロセス、について理解する。 5. 医療におけるリスクマネジメントの歴史、概念、理念、持つべき視点、基本的な方法論について理解する。 6. 病院の組織的な安全管理体制とシステム作り、リスクの把握・分析・対応のサイクルとその方法について理解し、医療組織の一員として、看護専門職としての役割を理解する。 7. 保健医療福祉教育のネットワークの要としての看護職の役割と機能を認識し、看護専門職としての将来像を展望する。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>授業への参加度、まとめのレポート等により総合的に評価する。</p>					
<p>教科書</p> <p>1) 上泉和子他、『系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践 [1] 看護管理』, 医学書院</p> <p>参考書</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 中西睦子：『看護サービス管理 第4版』, 医学書院 2) L. コーン他, 米国医療の質委員会, 医学ジャーナリスト協会翻訳, 『人は誰でも間違える - より 安全な医療を目指して』, 日本評論社 3) 内田宏美他：『実践から学ぶ病院リスクマネジメント』, 診断と治療社 					

授業計画

回	月日	テーマ	授業内容	担当者
1	9/29	看護管理概説	<ul style="list-style-type: none"> ・看護サービス管理という考え方 ・看護の組織化, 管理プロセス ・包括ケアの時代における看護職の役割 	内田
2	9/29	看護の質保証と人材の活用	看護の質保証と人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・良質な看護サービスを提供するための人員配置, 看護体制, 看護方式 	内田
3	10/6	看護専門職の育成	看護専門職と実践能力 <ul style="list-style-type: none"> ・専門職とは何か ・コアカリキュラムによる看護学士力の育成 	内田
4	10/6	看護専門職の育成	ベナー看護論に基づく卒後継続教育 <ul style="list-style-type: none"> ・新卒看護師の組織社会化・専門職社会化を支えるシステム 	内田
5	10/20	看護専門職の育成	ベナー看護論に基づくジェネラリストの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアラダー・システムによる看護実践能力の育成と支援 	内田
6	10/20	看護専門職の育成	高度看護実践者の育成と看護の質 <ul style="list-style-type: none"> ・卓越したジェネラリスト (クリニカルナースリーダー) スペシャリストの育成と活用 ・次世代の育成と看護学の深化のための看護学研究者の育成 	内田
7	10/27	看護管理の実際	医療リスクマネジメントの概念・視点・方法	内田
8	10/27	看護管理の実際	医療リスクマネジメントの実際と看護職 <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全の仕組みづくり 	内田
9	11/10	看護管理の実際	医療リスクマネジメントの実際と看護職 <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全の仕組みづくり 	内田
10	11/10	看護管理の実際	医療の質と安全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理の質の評価・看護職の役割と責務 	内田
11	11/17	組織論の活用	組織変革とリーダーシップ <ul style="list-style-type: none"> ・組織の機能・生成プロセス・力学 	内田
12	11/17	組織論の活用	組織変革とリーダーシップ <ul style="list-style-type: none"> ・変化理論, リーダーシップ理論の活用 	内田
13	12/1	看護管理と倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・看護実践と看護管理におけるジレンマ ・ジレンマに対する組織的対処 	内田
14	12/8	社会の中の看護	社会の健康ニーズに応えるために <ul style="list-style-type: none"> ・保健医療福祉教育のネットワークの要としての看護職の役割 ・包括ケアにおいて看護職に期待されるリーダーシップ 	内田
15	12/15	社会の中の看護	社会の健康ニーズに応えるために <ul style="list-style-type: none"> ・沈黙から発言へ 	内田
備 考 *まとめのレポート提出：12/22(金) 正午〆切 *レポートテーマ：「より良い看護管理とは」 A4用紙1枚(1500字程度)を学科事務室前のBOXに提出				

授業科目名	看護カウンセリング論	担当教員	講師 瀧尻 明子		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>保健・医療・教育・福祉分野の専門職には、提供する援助の質を保障するだけでなく、援助者自身のメンタルヘルスのために、カウンセリングの知識と技術の修得が望まれます。</p> <p>特に、健康相談や心理・社会面への援助を行うことが多い対人援助の専門職（保健師、助産師、看護師、養護教諭）には、対象者のニーズを的確にとらえた援助サービスが期待されています。そして、このことは援助する側のストレスに繋がりがやすく、援助者自身のメンタルヘルスやサポート体制が重要であるといわれています。</p> <p>この科目では、人々の心身の安楽をめざす援助と、援助者自身のメンタルヘルスに有益である新しい視点での援助方法について学びます。</p> <p>授業では、ビデオ事例の視聴や体験学習を通して、具体的・実践的に学びます。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>看護カウンセリングの特殊性を理解し、心身の安楽をめざして行う援助の方法を習得する。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) カウンセリングの基本と看護カウンセリングの特殊性を理解する。 2) 補完代替医療の理念をふまえ、看護職が独自に行うセラピーの目標、援助の方法について新たな知見を得て、これからの看護の方向性について考察する。 3) 対象者の心身の安楽をめざした援助の方法について、事例や体験を通して具体的に理解する。 4) 援助者自身のメンタルヘルスの重要性について理解する。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>学んだことについてのレポート</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書：武井麻子：系統看護学講座 精神看護の基礎 精神看護学 [1]，医学書院 系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学 [2]，医学書院</p> <p>参考書：授業中に紹介し、必要に応じて資料を配付します。</p>					

授業計画

回	月日	時限	テーマ	内 容	担当
1	10月2日	3・4	対人援助のための カウンセリング	看護におけるカウンセリングの位置づけ, カウンセリングとは, 目的, 基本姿勢	瀧尻
2	10月23日	3・4	カウンセリングの 基礎理論	精神力動的アプローチ	〃
3	〃	9・10	〃	来談者中心療法・傾聴技法	〃
4	10月30日	3・4	〃	家族システム論	〃
5	〃	9・10	カウンセリングの 方法論	行動療法・認知行動療法	〃
6	11月6日	3・4	〃	認知行動療法の実際	〃
7	〃	5・6	〃	マインドフルネス	〃
8	11月13日	3・4	〃	グループ療法	〃
9	〃	9・10	〃	自律訓練法, リラクゼーション	〃
10	11月20日	3・4	〃	マイクロカウンセリング	〃
11	〃	9・10	〃	アロマセラピーを取り入れたカウンセリング	〃
12	11月27日	3・4	カウンセリングの 活用	保健医療の現場でのカウンセリング 行動変容 / 医療スタッフ	〃
13	〃	9・10	〃	保健医療の現場でのカウンセリング 外国人患者への対応	〃
14	12月4日	3・4	〃	リエゾン看護とは 多職種チーム医療の中での看護カウンセリング	〃 ゲスト スピーカー
15	〃	5・6	〃	まとめのロールプレイ	瀧尻

備 考

授業日程及び授業内容を変更する場合があります。掲示を確認してください。

授業科目名	家族看護論	担当教員	教授 矢田 昭子 他		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択*		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>現代の家族形態や家族機能の多様化にともない、家族看護はますます重要となっている。本科目では家族看護学の理論的背景を理解し、その知識を基に家族アセスメントができるようになることをねらいとする。さらに家族のおかれている状況の中で様々な問題を抱えている事例を通して家族援助のあり方を学ぶ。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <p>家族看護の基本的概念や主要な理論を理解し、家族のライフサイクルの各段階、健康問題の特徴、看護援助方法を理解できる。</p>					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族看護の定義と目標、主要な理論について説明できる。 2. 家族のライフサイクルに応じた発達段階の特徴と各期における家族の発達課題について説明できる。 3. 家族のアセスメントの方法について説明できる。 4. 事例を通して健康問題を持つ家族に対する基本的な援助方法について説明できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>学習態度やレポート等を合わせて評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>資料は適宜配布する。</p> <p><参考書></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 鈴木和子, 渡辺裕子: 家族看護学 - 理論と実践 第3版, 日本看護協会出版会, 2006. 2) 小島操子: 看護における危機理論・危機介入 2版 - フィンク/コーン/アグィレラ/ムース/家族の危機モデルから学ぶ, 金芳堂, 2008. 					

* 助産師又は養護教諭一種の資格を得ようとする者は必修

授業計画

回	月 日	テーマ	授 業 内 容	担当
1	9月28日 8:30～	家族看護学の概念	家族看護学の定義と変遷 現在の家族の特徴と問題	矢田
2	9月28日	主要な理論(1)	家族看護学の主要な理論 家族発達理論, 家族システム理論	矢田
3	10月5日 8:30～	主要な理論(2)	家族看護学の主要な理論 家族ストレス対処理論	矢田
4	10月5日	家族看護過程(1)	家族のアセスメント方法	矢田
5	10月19日 8:30～	家族看護過程(2)	援助方法	矢田
6	10月19日	家族看護過程(3)	事例を用いてアセスメント・援助方法を 検討(演習)	矢田
7	10月26日	家族看護過程(4)	事例を用いてアセスメント・援助方法を 検討(演習)	矢田
8	11月2日	家族援助方法の 実際(1)	病気や障がいをもつ子どもの家族の援助 (乳幼児期)	矢田
9	11月9日	家族援助方法の 実際(2)	病気や障がいをもつ子どもの家族の援助 (学童期以降)	矢田
10	11月16日	家族援助方法の 実際(3)	病気や障がいをもつAYA世代患者の家族の援助	矢田
11	11月30日	家族援助方法の 実際(4)	成人期のがんをもつ患者の家族の援助	矢田
12	12月7日 8:30～	家族援助方法の 実際(5)	高齢者を介護している家族の援助	未定
13	12月7日	家族援助方法の 実際(6)	危機的な状況にある患者の家族の援助	矢田
14	12月14日	家族の語り	家族の語りから学ぶ	体験者
15	12月21日	総括	家族看護における倫理的課題とまとめ	矢田

備 考

授業科目名	緩和ケア論	担当教員	教授 矢田 昭子 他		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>緩和ケアを実践する上で必要な知識・技術についての理解を深め、緩和ケアにかかわる看護者に求められる資質・態度を学ぶ。特に終末期にある人が最期まで生きることができるような全人的ケアのあり方を考察する。対象者の死後にも家族ケアの必要性を理解し、さらに自己の死生観を深める機会とする。</p>					
<p>G I O (一般目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 緩和ケアおよび類義語の概念を理解する。 2. 終末期にある人が直面するトータルペイン・全人的ケアの必要性を理解できる。 3. 終末期から看取り後の家族の心理的プロセスを理解し、ニーズにそった全人的なケアの必要性を理解できる。 4. 自己の死生観や倫理観・看護観を深める。 					
<p>S B O (行動目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 - 1) 緩和ケアおよび類義語の意味を説明できる。 2 - 1) 終末期にある人の症状マネジメントの援助方法を説明できる。 - 2) 終末期にある人の心理状態の把握やニーズに応じ、全人的なケア方法を説明できる。 3 - 1) 終末期にある人の家族の心理状態の把握やニーズに応じた援助方法を説明できる。 - 2) 看取りや死後のケア、グリーフケアの必要性を説明できる。 4 - 1) 講義、体験者の語りやグループワークを通して自己の死生観や倫理観・看護観を深める。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>授業への参加状況、レポートで総合的に評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>資料を適宜配布</p> <p>【参考書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 鈴木志津枝・内布敦子編：緩和・ターミナルケア看護論第2版，ヌーベルヒロカワ 2. 渡辺裕子：看取りに添える20の言葉，PHPエディターズグループ 3. 小林光恵：説明できるエンゼルケア，医学書院 4. 廣瀬寛子：悲嘆とグリーフケア，医学書院 <p>【闘病記・命を伝える絵本】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スーザン・バーレイ：わすれないおくりもの，評論社 2. 柳田邦夫訳：でも、わたし生きていくわ，文溪社 3. 闘病記 					

授業計画

回	月/日	テ ー マ	授 業 内 容	担当
1	9 / 26 8:30	緩和ケアの概念	緩和ケアの歴史と理念, トータルペインの概念, 全人的ケアとQOL	矢田
2	9 / 26	緩和ケアの 学びや課題	今までの生活体験や実習などから緩和ケア・ターミナルケアに関連した学びや課題をグループワークで深める	矢田
3	10 / 3 8:30	緩和ケアの 学びや課題	今までの生活体験や実習などから緩和ケア・ターミナルケアに関連した学びや課題をグループワークで深める	矢田
4	10 / 10	緩和ケアの実際	がん患者のQOLの向上を目指した看護実践 看護相談	専門看護師
5	10 / 17	緩和ケアの実際	がん患者のQOLの向上を目指した看護実践 緩和ケアチーム	認定看護師
6	10 / 24	退院支援	がん患者と家族のニーズにそった退院支援	附属病院 MSW
7	11 / 7	小児の緩和ケア	小児の事例を通して, 子どもへのケア, 家族へのケアのあり方について考える	矢田
8	11 / 14	高齢者のエンドオブ ライフ・ケア	人生の「統合」を支えるケアのあり方について考える	原
9	11 / 21	がん患者の精神的ケア	がん患者の心理的反応について理論を用いて分析しケアのあり方について考える	矢田
10	11 / 28	家族へのケア	終末期にある患者の家族へのケアあり方について考える	矢田
11	12 / 5	体験者から学ぶ	看護師が“がん患者になる”ということ	体験者
12	12 / 12 8:30	看取りのケア	看取りの場面における患者や家族への対応およびエンゼルケアについて考える	矢田
13	12 / 12	グリーフケア	残された家族の家族機能の再構築への支援	矢田
14	12 / 19 8:30	死生観を深める	講義や闘病記, 命を伝える絵本を通して自己の死生観, 看護観を深める	矢田
15	12 / 19	緩和ケアにおける 倫理問題	緩和ケアにおける倫理的問題	矢田
備 考				

授業科目名	クリティカルケア論	担当教員	講師 森山 美香 他		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>この科目では、講義をとおして、生命危機状態にある重症患者（患児）と家族の状況を理解し、呼吸・循環管理、苦痛の緩和、日常生活の援助、家族への心理的援助、倫理的課題等の看護について学ぶ。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>生命危機状態にある患者とその家族について理解し、生命維持・全身状態改善・悪化防止・QOL向上のために必要な看護について理解できる。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命危機状態に陥った患者の観察に必要な知識と技術について説明できる。 2. 生命危機状態に陥った患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる。 3. 生命危機状態に陥った患者の生命維持、苦痛の緩和、日常生活援助などQOL向上のための看護援助について理解できる。 4. 生命危機状態にある患者の家族のニーズを理解し、援助方法について説明できる。 5. さまざまな場におけるクリティカルケア看護の実際について理解できる。 6. クリティカルケアにおける倫理的問題と望ましい対応について考えることができる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>授業への参加状況，レポートで総合的に評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>【参考書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 池松裕子編著；クリティカルケア看護 ・ メヂカルフレンド 2011 2. 寺町優子，井上智子，深谷智恵子編集；クリティカルケア看護 理論と臨床への応用 日本看護協会出版会 2007 3. 佐藤まゆみ，林 直子編集；急性期看護 - 救急看護，南光堂 最新版 適宜，資料配布 					

授業計画

回	日程	テーマ	授業内容	担当
1	9/28	クリティカルケア看護の概要	クリティカルケアの概念と意義, クリティカルケアを必要とする患者	森山
2	10/5	クリティカルケアを必要とする患者の生命を支える看護	呼吸機能の安定をはかるための援助 ・呼吸機能アセスメント	森山
3	10/19		呼吸機能の安定をはかるための援助 ・酸素化の維持・促進への援助	森山
4	10/20(金)		呼吸機能の安定をはかるための援助 ・人工呼吸器装着している患者の看護	森山
5	10/26		循環機能の安定をはかるための援助 ・循環機能アセスメント	森山
6	10/31(火) 10:15~		循環機能の安定をはかるための援助 ・心電図正常波形の理解と致死性不整脈	森山
7	11/2		循環機能の安定をはかるための援助 ・心電図正常波形の理解と致死性不整脈	森山
8	11/9		重症患者の苦痛の緩和 ・鎮静, 鎮痛方法と評価	森山
9	11/16		クリティカルケアを必要とする患者と家族の生活を支える援助	日常生活行動を維持するための援助 ・日常生活への援助方法
10	11/17(金)	心理的危機状態にある患者・家族の看護		森山
11	11/24(金) 10:15	初療看護	初療における患者と家族へ看護の実際	遠藤 CN
12	11/30	外傷患者の看護	外傷初期患者のアセスメントと看護	森山 CN
13	12/7	熱傷患者の看護	熱傷患者のアセスメントと看護	森山
14	12/14	NICU看護	NICU入室中の患者と家族の看護の実際	門城 CN
15	12/21	総括	クリティカルケアにおける倫理的問題と今後の課題	森山

備考

4回, 6回, 10回, 11回は講義日程が異なりますので, 注意してください。

授業科目名	看護理論講読	担当教員	准教授 福間 美紀 他		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	15	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>この科目では、これまでの授業で取り上げていない看護の新しい考え方やケア方法について、オムニバス形式で講義します。</p> <p>授業や実習で学んだことや疑問に思ったことをふまえながら、新たな知見を得たり看護を再考することによって、これからの看護の方向性について展望します。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>看護の理論やケア方法について新たな知見を得るとともに、これからの看護について考える。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の理論と実践の関連性、および理論の意義と課題について説明できる。 2. 近年話題になっている看護の新しい考え方、理論、ケア方法について理解する。 3. これまでに学んだことや疑問に思ったことをふまえて看護について再考し、自分自身が将来めざす看護の方向性について自分の考えを述べることができる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>レポートにより評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>授業中に資料を配布する。</p>					

授業計画

回数	月日	時限	項目	内容	担当
1	9月28日	7・8	ガイダンス	看護理論の活用 看護実践の課題解決のために 臨地実習の振り返り	福間
2	10月5日	7・8	看護に活用できる中 範囲理論	バンデュエラの自己効力感 看護実践への活用	宮本
3	10月19日	7・8	認知症のケア	パーソンセンタードケア 看護実践への活用	原
4	10月26日	7・8	行動変容・行動強化 のケア	保健信念モデル 看護実践への活用	小笹
5	11月2日	7・8	ケアリング	ワトソンのヒューマンケア 看護実践への活用	福間
6	11月9日	7・8	事例分析	臨地実習で課題の残った事例の分析 - 看護理論を用いて (学生によるプレゼンテーション)	福間
7	11月16日	7・8	まとめ	自らの看護実践を豊かにするための理論 活用のしかた	福間

備考

最終レポート課題は、看護理論講読で学んだ理論家の理論、概念等を用いて、自らが経験した臨地実習の事例を振り返り体験した課題と、看護理論の実践への活用について考察する。
(提出期限; 12月1日)

授業科目名	看護教育論	担当教員	教授 津本 優子		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	15	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>この科目では、社会の変化や看護職のニーズをふまえて、看護専門職（保健師・助産師・看護師）の生涯教育という観点から、看護の基礎教育と卒業後の継続教育について学びます。特に、歴史的変化の大きい看護の基礎教育制度の変遷とその意味、および継続教育と上級資格制度について学び、これからの看護教育のあり方と自分自身の職業生活の展望について考えます。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>看護教育の目的，特殊性，教育・資格制度の変遷と動向を理解し，これからの看護教育のあり方について考える。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護教育の目的，特殊性，価値，現在の課題について理解する。 2. 看護職の基礎教育制度とこれからの動向について理解する。 3. 看護職の卒後継続教育システムおよび上級資格制度について理解する。 4. 看護専門職としての自分自身の継続教育の展望について考える。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>レポートにより評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>授業中に資料を配布する。</p>					

授業計画

回数	月日	テ ー マ	内 容	担当
1	9月26日	看護教育の特徴	現代社会の変化に伴う看護職のニーズの変化 看護教育の特殊性，価値，問題	津本
2	10月3日	看護教育制度の動向	看護の教育制度の変遷 看護教育の歴史が持つ意味	津本
3	10月10日	”	看護の基礎教育制度の動向，今日の課題 看護の継続教育の種類，内容，動向	津本
4	10月17日	看護職の上級資格制度	専門看護師の資格，教育制度，役割と活動内容 認定看護師の資格，教育制度，役割と活動内容	津本
5	10月24日	”	看護学教育者の資格，教育制度，活動の実際 看護学研究者の資格，教育制度，活動の実際	津本
6	11月7日	看護職と生涯教育	生涯教育としての看護教育 大卒看護職に期待されるものは何か	津本
7	11月14日	”	まとめ レポート	津本
備 考				

授業科目名	助産業務管理	担当教員	講師 松浦 志保 他		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	15	単位数	1
<p>授業概要</p> <p>女性のライフサイクルにおける性と生殖にかかわる健康課題を解決するための社会的システムを学び、また病院・助産所における助産師の業務・役割について学ぶ。</p>					
<p>G I O（一般目標）</p> <p>母子および家族に対し、安全で快適な妊娠・出産・産褥の環境を提供するために必要な助産管理の概念や地域・他機関との連携について基本的な知識と技術を習得する。</p>					
<p>S B O（行動目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産管理の概念が理解できる。 2. 関連する法規と助産師の義務について理解できる。 3. 周産期管理システムとリスクマネジメントについて理解できる。 4. 病院における助産業務管理について理解できる。 5. 助産所における助産業務管理について理解できる。 					
<p>成績評価の方法</p> <p>授業への参加状況および提出課題、筆記試験を総合的に評価する。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 我部山キヨ子編：助産学講座（10） 助産管理 医学書院 					

授業計画

回	月日	テーマ	授 業 内 容
1	9.26	助産管理の基本	管理の基本概念とプロセス
2	10.3	助産管理の基本	助産管理の概念, 助産と医療経済
3	10.10	助産師の義務と責任	関連法規, 助産師の法的責任と義務
4	10.17	周産期管理システム	周産期医療事故とリスクマネジメント
5	10.24	病産院における助産業務管理	助産業務管理の過程と方法
6	11.7	病産院における助産業務管理	病棟での管理, 助産外来
7	11.14	助産所における助産業務	助産所の管理, 助産所の経営

備 考

教職に関する科目

授業科目名	教職実践演習(養護教諭)	担当教員	講師 土江 梨奈 他		
開講年次及び学期	4年 通年	必修・選択の別	選択		
開講形態	演習	時間数	30	単位数	2
<p>授業概要</p> <p>教職実践演習は、教職課程の他の授業の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身につけた資質能力が、教員（養護教諭）として最小限度必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するものであり、いわば全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置付けられるものである。この科目を通じて、4年間の教職課程をふり返り、教職における知識・技術・態度などの自己の学びの課程と学習内容を自覚すると同時に、将来、教員（養護教諭）になる上で、自己にとって何が課題であるかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 履修カルテと教職履修ポートフォリオによる履修履歴の把握と課題の明確化 2. 演習課題の設定 3. 課題に対する実践発表の実施 4. 総括協議 					
<p>授業の到達目標</p> <p>本授業の目標は、以下の4つの事項が身についているか確認することである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教員としての使命感や責任感、教育的愛情 2. 教育現場で必要な対人関係能力をもって、学校教員としてふさわしい社会的行動をとり、保護者や地域、医療機関等との良好な関係性を築くこと 3. 保健管理・保健教育・組織活動等に必要な学校理解、幼児・児童・生徒理解、保護者理解に関する実践的知識・技能とそれに基づく保健室経営計画の作成 4. 保健管理・保健教育・組織活動等に必要な教育実践力、探求力、リテラシーなど 					
<p>成績評価の方法</p> <p>養護教諭として最小限度必要な資質能力が身についているかを、授業への参加、課題レポートの提出、演習課題の取り組みと発表により総合的に判断し、担当教員等が「合格」「不合格」によって単位認定を行う。</p>					
<p>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</p> <p>教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。</p>					

授業計画

回	月日	曜日	テーマ	授業内容	担当者
1	8月28日	月	全体オリエンテーションと全体講話	「教職」・「教員免許状」認定・取得等を巡る問題と「教職実践演習」の主旨、進め方、注意事項、単位認定等	教育学部 権藤誠剛教授 他
2	8:30～11:45				
3	8月30日 9:00～10:30	水	教職の意義、使命感や責任感について	履修履歴などを事前に自己把握する。左記に關してのレポート（A4：1枚程度）を基にグループ討論。グループ討論の成果をクラス全体に発表・討論。	土江
4	8月30日 10:45～12:00	水	履修カルテ等を基にした面接・指導	履修履歴のふり返りによる成長過程の検証	土江
5	9月4日 9:00～10:30	月	学校保健の現状・課題と養護教諭に求められる資質力量	島根県保健体育課指導主事による講話	藤原利恵指導主事
6	9月22日	金	特別支援学校での養護教諭の職務	特別支援学校の学校実地見学・養護教諭の講話などにより、特別支援教育における養護教諭の職務や児童生徒理解を深める。	土江
7					
8	9月27日	水	保健室経営に関する実践演習	人間関係づくりエクササイズ 演習2事例：グループワークと全体発表	福原光江先生
9	9:00～12:00				
10	9月27日	水	保健室経営計画と保健室経営の進め方	各自が作成した保健室経営計画について、グループ討論と全体発表 実践事例（2例程度。活字・ビデオ等）。 グループ討論とクラス全体発表・討論	福原光江先生
11	13:00～16:00				
12	10月11日 9:00～12:00	水	健康相談活動に関する実践演習	リラクゼーション体験 事例研究1～2事例：グループ討論と全体発表 保健室の環境づくり	福原光江先生
13			養護教諭と職業倫理に関する実践演習	実践事例（2例程度。活字・ビデオ等）。 グループ討論とクラス全体発表・討論	
14	10月14日	土	全体のまとめ	取り組みの報告と全体討論	教育学部 権藤誠剛教授 他
15	8:30～11:45				
<p>備考</p> <p>履修カルテ、教職履修ポートフォリオの作成・提出を2年次、3年次に求める。未提出の場合、または記入内容が不十分な場合には「教職実践演習」の履修を認めない。 1・2回、14・15回の授業は松江キャンパス、20番教室で行う。 日程について、変更する場合がある。</p>					

養護教諭一種免許状取得のための教職に関する科目の単位の修得方法

教職に関する科目	授業科目名	必修 単位	開講時期	開講場所	担当教員	備 考
教職の意義等に関する科目	教職概論C	2	1年前期			
教育の基礎理論に関する科目	教育原論	2	1年後期			
	人格発達心理学概説	2	1年後期			
	教育社会学概説	2	1年後期			
教育課程に関する科目	教育課程論	2	2年前期			
	道徳及び特別活動論	2	2年後期			
	視聴覚教育論	2	2年後期			
生徒指導及び教育相談に関する科目	生徒・進路指導論	2	2年前期			
	教育相談の理論と方法	2	1年後期			
養護実習	養護基礎実習事前・事後指導	1	3年前期			
	養護基礎実習	2	3年前期			
	養護展開実習事前・事後指導	1	4年前期	出雲キャンパス	講師 土江梨奈 他	
	養護展開実習	2	4年前期	出雲市内小・中学校		
教職実践演習	教職実践演習(養護教諭)	2	4年通年	出雲キャンパス		
				松江キャンパス 他		
	合計単位数	26				

履修登録については、別途通知する。

平成29年度オフィスアワー一覧

講座	教員名	場所	時間帯
基礎看護学	内田 宏美 教授	5階	会議等で不在の場合が多いので、メールをください。 E-mail : uchi@med.shimane-u.ac.jp
	津本 優子 教授	5階	調整しますのでメールください。 E-mail : tsumotoy@med.shimane-u.ac.jp
	小林 裕太 特任教授	2階	火曜日 18:00以降 メール (yutakoba@med.shimane-u.ac.jp) でのコンタクトOK
	福間 美紀 准教授	5階	メールで日程調整します。 E-mail : mk8592@med.shimane-u.ac.jp
	宮本まゆみ 講師	5階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail : mmiyamot@med.shimane-u.ac.jp
臨床看護学	矢田 昭子 教授	4階	適宜
	橋本 龍樹 教授	2階	日程を調整しますので、メールで連絡ください。 E-mail : ryuju@med.shimane-u.ac.jp
	福田 誠司 教授	3階	日程を調整しますので、メールで連絡ください。 E-mail : sfukuda@med.shimane-u.ac.jp
	秋鹿 都子 准教授	3階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail : aika@med.shimane-u.ac.jp
	瀧尻 明子 講師	4階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail : takijiri@med.shimane-u.ac.jp
	森山 美香 講師	4階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail : mika1969@med.shimane-u.ac.jp
	松浦 志保 講師	3階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail : shihom@med.shimane-u.ac.jp
地域・老年看護学	原 祥子 教授	5階	水曜日 12:00 ~ 13:00 適宜, メール (hara@med.shimane-u.ac.jp) でのコンタクトOK
	小笹 美子 教授	6階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail : yozasa@med.shimane-u.ac.jp
	加藤 真紀 准教授	5階	適宜
	榊原 文 講師	6階	適宜 E-mail : aya@med.shimane-u.ac.jp
	竹田 裕子 講師	6階	適宜 E-mail : y.takeda@med.shimane-u.ac.jp
	土江 梨奈 講師	6階	適宜 E-mail : thuchie@med.shimane-u.ac.jp